

# こうざ えもんつうしん 講左衛門通信

平成 25年 8月 11日

第 4号

発行 天台宗忍草山東円寺

〒401-0511

南都留郡忍野村忍草38

☎ 0555-84-4114

クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

口癖 でまっすん..



『講左衛門さん、今日は、3番霊場底抜池の紹介でまっすん。この池の読み方は、「そこなし池」？「そこぬけ池」？どちらが正しいでまっすん。』

『とても良い質問じゃ。正しいのは、そこぬけ池じゃ。和歌には、そこぬけの池と詠まれておる。和歌を紹介しよう。』

東叡山御免 3番霊場 底抜池 娑伽羅（シャガラ）竜王

くむからに つみはきへなん 御ほとけの

ちかひそふかき そこぬけの池

意味 手にすくうやいなや、必ずこの世での罪が消えてしまうと御仏が確かにお誓い申し上げている霊水池は、このそこぬけの池だ

3番霊場 娑伽羅（シャガラ）竜王

「娑伽羅」とは、サンスクリット語で「海」という意味です。古来「請雨法（雨乞い）」の本尊として、多くの人々の信仰を集めてきました。また、観音28部衆の1つ。村史やその他の書物には「娑伽羅」と書かれているが、「娑伽羅」が正しい字です。

『忍野八海は、八つの池を巡らなくても、人々の罪が洗い清められるように造られておる。しかし、講左衛門通信第1号で説明したように、北斗信仰の星占い、陰陽道信仰などを合わせた独自の修行場を造ったんじゃ。そこには深い思いが込められておるんじゃよ。』

『深い意味とは、どのようなことでまっすん。』

『友右衛門さんは、村人だけではなく、忍野八海を訪れる多くの人々の幸せを心から祈っていると思うのじゃ。災難から人々を守り、人の心を洗い清め穏やかに暮してほしいという願いが込められ、様々な教えを取り入れた忍野八海を造ったのじゃと思っておる。』

『胸に沁みる話でまっすん。そこぬけ池を見学するためには入場料が必要でまっすん。』

『長い年月の間には、様々な出来事があるものじゃ。しかし、そこぬけ池は、忍野八海の中では、造られた当時のままの景色が残っておる心落ち着く池だと思ふのじゃが。クニマッスンはどうじゃ。何が幸いするか分からないのが世の中じゃな。』

『確かに、巨大な榎の古木が生い茂る静かな場所でまっすん。忍野八海の湧水の量が多いと感じるのは、榎の木資料館に入って左手にある湧水はびっくりするでまっすん。柱のようにもりあがりながら水が湧いているでまっすん。是非、そこぬけ池に行つてほしいでまっすん。次回は、4番霊場銚子池でまっすん。とても楽しみでまっすん。』

『講左衛門通信』は、第2・第4日曜日に発行予定

ふじのだいがこうざえもん  
富士大我講左衛門 年齢不詳

職業 大我講の先達

(先達とは富士山案内責任者)